

(様式 1 - 表)

令和 8 年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	110	豊田市立 石野中 学校	代表	宮川 和己
------	-----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テ マ	「地域に学び、地域で体験し、石野に活かす」	分野	b	地域連携
サブテーマ	石野の地域に学び、自他の生き方を考え、地域を愛する心を育む体験活動を通して	(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点(ねらい)	<p>以下の活動を通して育まれた豊かな心で、よりよい人間関係が構築された学校づくりをめざす。</p> <ol style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間や各教科、学級活動、道徳、行事等を通して、豊かな自然と心温かい人々が住む石野の里を学習教材として、自然・文化・人々の暮らしを学び、故郷となる石野地区を愛する心を育む。 米づくりに全校生徒がかかわり、地域講師から農業技術を教えていただく勤労体験を通して、命を育む喜びを実感させる。米を活用した食育等の推進を図ることで生きる力を育む。 奉仕活動や伝統芸能の体験活動を通して、地域の良さを知り、地域に生きる自分の将来を見つめる生徒を育てる場とする。 <p>○校内整備員：樹木や竹林が多く、環境整備は生徒の安全確保に必要不可欠である。</p>			
活動内容・計画	<p>(1) 地域講師を招いた地域の伝統文化などの学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 後期に、「伝統を学ぶ講座」として、1つの講座を選択し、3年間を通して石野地域の伝統文化を学ぶ。 「伝統を学ぶ講座」・・・石野歌舞伎、勘八太鼓、水神ばやし、棒の手の4種類の伝統芸能について体験を通して学ぶ。 文化祭と地域行事共催の「ふれあいまつり」で、発表の場を設定し、学習の成果を地域に発信する。 学生ボランティアを活用し、一人一人の生徒が自己の成長を感じられるよう支援する。 <p>(2) 稲作を通じた農業体験や米の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 田植え、草取り、すがい作り、稲刈り、脱穀の各種体験学習を実施する。 米作り委員会、ボランティア隊「ライサイズ」を結成し、米作りにかかわる活動を推進し、生育状況などを全校や地域に発信する。 <p>(3) 収穫した「石野米」を行事や授業で利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 米を利用した食育（家庭科）、感謝の会や収穫祭などの活動を通じた教育（総合的な学習の時間）を推進する。 			
補助員配置	<ul style="list-style-type: none"> 校内整備員 			
実績・期待される効果	<ol style="list-style-type: none"> 地域講師から学ぶことで、地域の一員としての自覚と地域への愛着が高まり、地域行事に進んで取り組む生徒が育つ。 石野歌舞伎、勘八太鼓、水神ばやし、棒の手など、石野の伝統文化に親しむ体験を積み重ねることで、地域文化を継承しようとする意識が高まる。 稲作では、田植えから収穫までの体験活動を通して、勤労の尊さを学ぶとともに、命を大切にす気持ちや感謝の気持ちを育むことができる。自分ごととして稲作にかかわることで、社会とのつながりを認識し社会参画にかかわる生きる力を育むことができる。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> 伝統文化の講師の方への手紙の内容から、地域文化に対する気持ちが高まったか検証。 稲作関連事業の活動の様子や作文、日記から命を大切にす心が高まったか検証。 稲作体験を通して、振り返りの作文や日記から社会とのつながりをもって生活しようという思いが高まったか検証。 			